

一般質問通告表

令和5年第4回始良市議会定例会（11月28日）

1. 和田 里志	1. 観光振興とその施策について	<p>本市には、歴史豊かな風土を物語る文化財・史跡が市内各所に数多く残り、191件の国・県・市指定文化財は、県内市町村で最多を誇る。さらに登録文化財13件を加えると204件となり、文化財保護法や文化財保護条例などの規定に則って、保護を進めるとしている。また、指定文化財以外で文明・文化の象徴となっている建物などのなかには、開発が進むことで壊される可能性があるものもあり、そのため、保護しきれないものを保護（補完）するとしている。</p> <p>そのような中「第2次始良市観光おもてなし計画」（始良市観光基本計画）は、「おもてなしの心」による観光交流人口の拡大を図るため、始良市の持つ潜在的な可能性を最大限に活かし、将来にわたって持続的に提供・享受できるような魅力ある観光地づくりを進め、もう一度訪れたいくなるまちづくりの方向を示すとした。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 始良市観光基本計画の総括と今後の進め方について</p> <p>(2) 観光振興に関しての課題は何か。</p> <p>(3) 今後整備を予定している史跡・文化財はどこか。</p> <p>(4) 観光資源の案内方法やPR方法とその考え方について</p> <p>(5) 観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について</p> <p>(6) 文化財保存活用地域計画作成について</p> <p>(7) 始良市観光協会の今後について</p>	市長 教育長
----------	------------------	---	-----------

		(8) 指定文化財以外で文明・文化の象徴となっている建物はどのくらいあるか。	
2. 岩下 陽太郎	1. 事業や施設等のスクラップアンドビルドについて	<p>本市の財政状況は、少子高齢化の進行や社会保障関係経費・公債費等の義務的経費が高い水準で推移しており、今後も厳しい状況が続くものと見込まれている。</p> <p>第3次始良市行政改革大綱において、将来にわたり安定した行政サービスを提供できる持続可能な財政基盤を確立するためには、市税等の収納率のさらなる向上や、新たな財源確保策の推進により、歳入の確保に努めるとともに、個々の事務事業の目的と成果を明確にしたうえで、事業を推進するにあたり無駄がないかを検証し、事業の効率化を図りながら経費節減に努める必要があると示されている。</p> <p>そこで、以下の内容を問う。</p> <p>(1) 行財政運営の効率化や健全化に向けた取組を着実に進めるため、より一層の歳出削減と財源確保の徹底を図るとともに、費用対効果を検証しながら事務事業の徹底的な見直しを行うとしているが、具体的にどのように進んでいるのか。見直した事業名や事業数、削減された費用等を含めて示せ。</p> <p>(2) 今後の公共施設のあり方については、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の適正な配置に努めるとし、始良市公共施設等総合管理計画の推進が図られているようだが、どのように進んでいるのかを示せ。</p>	市長 教育長

		<p>(3) 将来にわたって持続可能な行財政運営を確立するため、より一層の財政健全化への取組を進める必要があるとしている。</p> <p>そして、今後の事業展開に向けて、多角的な視点から事務事業の統合、廃止を見据えた行政事務の精査を行い、歳出の抑制・適正化に努め、また費用対効果の観点から、施策・事業の評価や市民ニーズを考慮して補助事業のあり方を見直すとともに、補助の目的、成果等を十分に検討するなど、補助金の適正化に努めるとしているが、具体的な作業としてどのような手法を用いて検討を行っているのか。</p> <p>(4) 組織のスリム化、効率化、定員の適正化を目標として、組織のあり方を見直し、簡素で効率的な組織を構築し、定数の抑制に努めるとしているが、これから想定される業務に対して適正な職員数を配置することができるのか。</p>	
--	--	---	--